

カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発事業 令和4年度予算額 29.6億円（23.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 政府は、経済と環境の好循環を形成する産業政策として「グリーン成長戦略」（2020年12月）を策定し、「2050年カーボンニュートラル」を宣言。カーボンニュートラルな炭素源を活用したバイオ生産プロセス技術は、低炭素・脱炭素化社会の実現のために注目されています。
- 本事業では、カーボンリサイクルの実現と化学工業プロセスの省エネ化に向け、バイオプラスチックやバイオ燃料のような大規模生産から機能性物質のような少量多品種生産が想定されるものまで、多様なバイオ生産物に必要となる試作・検討が可能なバイオファウンドリ生産基盤技術を確立します。バイオ生産の効率化と低コスト化を進め、バイオ由来製品の普及拡大に向けたエコサイクルを構築します。
- 本事業を通じて構築したバイオファウンドリ生産拠点は、共用拠点として解放し、企業等が有するシーズのスケールアップ実証やニーズとシーズのマッチング拠点として活用します。

成果目標

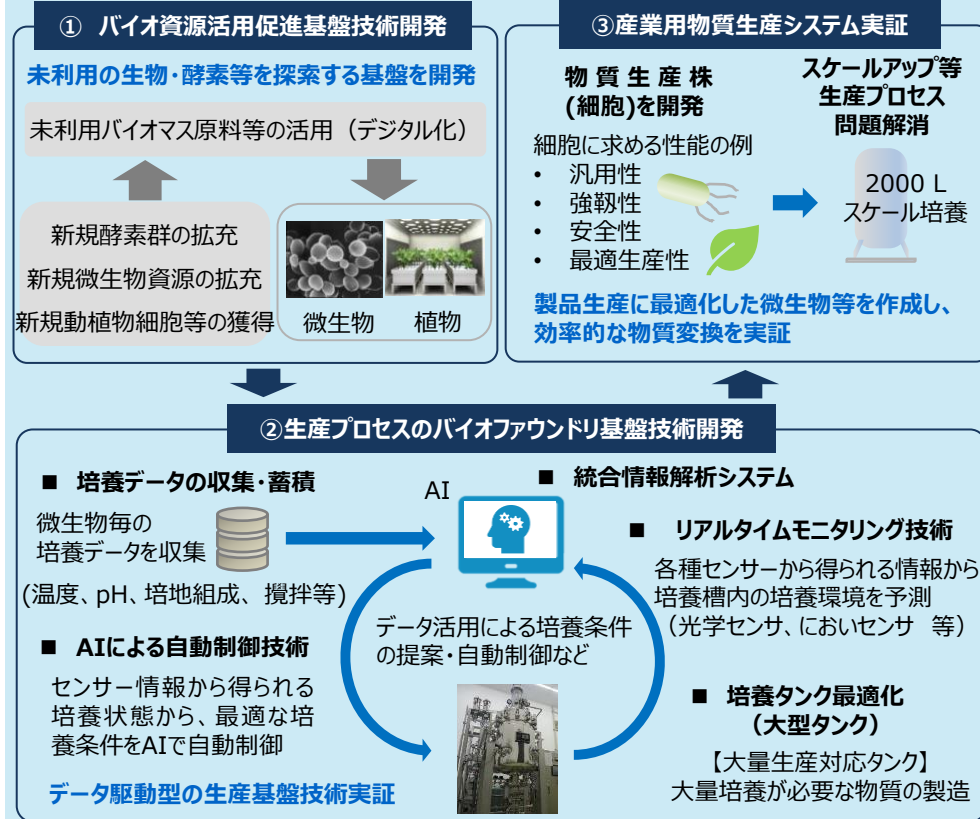
- R3年度からR8年度までの6年間の事業で、カーボンリサイクルや省エネ・CO₂排出量削減に資するバイオ由来製品生産技術を確立し、産業分野における脱炭素技術の革新的なイノベーションの創出を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

【本事業の事業内容】



バイオ由来製品生産の共用拠点化



- ・ バイオプラスチック
- ・ バイオ燃料
- ・ 有用タンパク質
- ・ 食品用機能性物質
- ・ 高機能化学品
- ・ 医薬中間体

バイオファウンドリ生産拠点での課題解決により
カーボンニュートラルな
バイオ製品生産

カーボンニュートラル型バイオ産業の創出
生物プロセスを利用する高機能品・バイオ燃料等の有価物を生産、利用